

1. 福島県の身体障害者手帳所持者数は、令和3年4月1日現在で77,742人  
 18歳未満 1,066人  
 18～65歳未満 17,325人  
 65歳以上 59,351人  
 （種別では肢体不自由が52.1%で最も多い）

2. 身体障害者手帳  
 1級 18歳未満 576人  
     18歳以上 26,177人  
 2級 18歳未満 175人  
     18歳以上 11,417人

※近年、身体障害者手帳所持者は減少傾向だが、療育手帳所持者数は増加傾向。  
 福島県の特別支援学校（自閉症・情緒障害）に在籍児童・生徒は  
 令和元年5月1日現在1,724人、平成29年に比べ1.3倍  
 本県で通信級による指導を受けている発達がいのある児童生徒数は、令和元年5月1日現在964人（自閉症289人、学習障がい216人、注意欠如多動性障がい459人）平成28年と比べ1.6倍

3. 入所支援施設については、これまでと同様に新たな施設の設置や定員の増加は原則として行わないこととし、既存施設の利用環境の改善や老朽施設の計画的な改修等により、安全で快適な利用環境の確保に努めます。
4. 障害福祉サービスの地域における偏在問題については、地域の現状と問題点を整理した上で、市町村の協議会等において、地域の実情を踏まえたサービス提供の在り方を検討し、その整備に努めます。
5. 特別支援学校のセンター的機能を促し、各学校における特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制の充実の支援。
6. 痰吸引等の業務を行う者は事業所として福島県知事に登録が必要となる。

【編集後記】今年4月伊達市に支援学校が開校しました。肢体不自由児の学校は2校のままです。手帳所持者の人数を調べてみると、上記の記載でした。療育手帳所持者が増加していることに驚いています。今後も支援学校が開校予定と聞きましたが、教師の人数不足が新聞にも取り上げられて記事となっています。個々人に沿った教育は可能なのか対策を期待したいです。

【 訃 報 】

愛知県支部長  
更に東海・北陸ブ  
ロック長や本部  
監査を務めた松  
田昌久さんの訃  
報を知りました。  
2011年の東  
日本大震災発生  
後まもなく、私の  
携帯に電話をい  
ただきました。

開口一番「東北  
のブロック長さ  
んは誰ですか」  
ん？…今も忘れ  
られない一言で  
す。それはさてお  
き、遺産を残して  
無くなられた方  
の基金があり、支  
援物資を福島に  
送りたいので調  
整をしてほしい  
とのことでした。

聞けば、兄弟の  
方が福島県と宮  
城県に住んでい  
るが戦時中福島  
に疎開したこと  
がありその縁で  
送りたいとの意  
向でした。

送り先は、民間  
施設の福島整肢  
療護園にとのこ  
とでした。

いわき病院に  
入所している方  
の妹さんが栄養  
士として勤務さ  
れており、その方  
を窓口、米2ト  
ンを送っていただ  
きました。

ご冥福をお祈  
りします。



福島県重症心身障害児(者)を守る会  
会長 牧野和江



福島に今年もまた美味しい季節がやってきました。  
 福島と言えば”桃“ TOKIOでおなじみの桃のCM(も  
しかして東日本だけかな???)がお茶の間に流れ始まる  
とフルーツ天国福島の幕開けです。  
 私は仕事柄、観光で福島を訪れた方に「福島市の見どころは？」とよく聞かれ「春は花見山、夏は桃から始まるフルーツ三昧、秋はあづまのイチヨウ並木、冬は温泉…と、  
 でもありふれていてココ一番がないなあ～」と心の中でつぶやきながら紹介しています。

ある日、食の仕事で全国を回っているという方とお話をする機会があり、その心のつぶやきを伝えた所「福島にもどこにも負けない見所は数多くありますよ。特に春の”ハナモモ”の”色とりどりあたり一面咲き乱れる”桃源郷”のような景色の美しさは他では見ない、そして”桃”代表は”あかつき”ですが7月～9月と幅広く20種類以上の品種は福島ならではの、何と言ってもその美味しさは天下一品！！」と。

その言葉にいつも見なれた風景のすばらしさに改めて気づかされ、私の心までもが桃色に染まる心地良さを感じずにはいられませんでした。

これからも自信を持って郷土愛に満ちあふれるこの想いを全国の方々に伝えて行きたいと思います。

先日、東京にいる娘の職場のレクリエーションの地元名産品のテーマトークで、こよなく愛する”白飯” “一本ネギそば” “イカニンジン” “などなど大好物の紹介をし、最後のめに「母が遊びに来るたびに手土産に持参した日本酒で酔っ払っては”福島県産日本酒9年連続日本一”と自慢を熱弁しまくる～～」で大爆笑を取ったとの報告を受けました。

「酔っ払いも時にはお役に立てて光栄です(笑)」と返信。

この笑い話を聞いた若者が福島に興味を持ち、ひとりでも多く足を運んでくれたらうれしいです。  
 美味しいモノの話は全国・・・イヤ世界共通！！盛り上がるはずがありませんものネ(笑)(笑)



## 「県支部リーフレット作成」 本部補助事業

新型コロナウイルスの長期的な影響により、全国大会をはじめとする各種集会や行事が開催できない状況が続いています。

そんな中、希望する支部に補助金を支給し、各県支部活動支援の一環として支部の主体性を尊重した支部活性化事業が取り組まれています。

昨年は会津若松市「稽古堂」を会場に、Web を活用した両親の集いを開催しました。

今年は、県支部の活動や重症心身障害児・障害者の存在を地域の方々に広く知っていただき理解を深めるとともに、同じような境遇にあるご家族との接点を見いだす手段の一つとして、県支部守る会のリーフレットを作成し関係機関へ配布することとしました。

作成にあたって、各県支部のHPに掲載されているリーフレットを参考に福島県支部として独自性を発揮できる内容にする事とし、室井副会長が作成した原案をたたき台に意見を出し合いながら進めています。

編集会議は、福島病院、いわき病院、在宅とそれぞれの立場からの選出であることと、久しぶりに再会する会員同士である事もあり、リーフレットの内容の話しだけにとどまらず、「おしゃべり」も含めて和気あいあいと進められています。

できあがり後には、配布も含めて皆さん方の手をお借りすることになりますがご協力をよろしくお願いします。



### <障害者の権利に関する条約、略称：障害者権利条約>

今年9月国連から障害者政策の改善すべき点が勧告されました。

改善点は、障害者を分離した特別支援教育の中止や入所施設からの地域社会での生活に移行できるよう、予算配分を変えることなどです。

難しい事ことですが少しずつでも住みやすい環境への移行になることを望みます。

障害者権利条約とは、障害者の人権及び基本的自由の共有を確保し障害者の固有の尊厳の尊重を促進することを目的として、障害者の権利の実現のための措置等について定める条約です。

## 3年ぶりに国立施設部会・総会開催

室井貴子

令和4年6月5日(日)に仙台市、セント会館会議室において代議員・部会役員・盛岡さくら会(盛岡医療センターさくら病棟保護者会)会長に出席を頂き開催しました。

総会で問題となったのが、部会費を各親の会病院から集めない予算書(案)でした。

昨年度はコロナ禍の影響によって思うような活動ができず、繰越金残高が多く残ったためと、令和4年度国立施設部会の活動の実施が予測困難なことから、会費は集めなくとも大丈夫だと推測し残金での予算書だったのです。

結果として、予算額が決算額より少なくなる予算書としてしまい、代議員から意見として「予算額は決算額より少なくするものではない」「この書類だと会社でいえば、倒産寸前」と助言を頂きました。会計として私は、「なるほど」と思い貴重な経験をさせて貰いました。人生経験豊かな方から大きなアドバイスを受けた次第です。

『失敗は大きく前進させてくれます。成功ばかりでは人は成長しません。』  
私を一步前進させていただいた出来事でした。



※盛岡医療センターさくら病棟保護者会は、平成31年(令和元年)に旧盛岡病院内に重症心身障がい児・者の病棟として入院39床、短期入所1床として開設され現在30名の会員で活動し、今年、守る会への加入と共に国立施設部会へ加入しました。

### <在宅部会>

アンケート調査を実施し東北各県の現状を共有している。

在宅ネットワークがあり、各地域でのサービスの状況を共有している。

将来への不安解消には意見交換などの場を持つこと、現状を訴えていくことの大切さを認識し広めていきたいと思います。

### ◇重度重複障害者の生涯学習◇

【文部科学省 HP より転載】

～重度重複障害者の生涯学習～

だれでも参加できる生涯学習の機会を作りませんか？

**※重度重複障害のある方とは…**

このパンフレットでは、重度の身体障害や知的障害等がある方、医療的ケアが必要な方(重症心身障害者、重度肢体不自由者、医療的ケア者等)を「重度重複障害のある方」としています

医療的ケア

身体障害

知的障害

**生涯学習 = 自主的・自発的に行う全ての学び**

※重度重複障害者の生涯学習啓発パンフレット「だれでも参加できる生涯学習の機会を作りませんか？」(PDF:2.2MB)は、守る会本部ホームページからも文科省へのリンクが張られています。